

美術が明るく照らす、 このまちで。

しもだて美術館 主任 篠木崇史 Shinogi Takafumi



しもだて美術館で学芸業務を担う篠木さんは、作品の向こう側にある物語を、市民へそっと手渡す存在です。中でも心を寄せるのが、筑西市が誇る陶芸家〈板谷波山〉。繊細な技法や色彩の美しさはもちろん、戦没者遺族に観音像を作って贈った温かさまで伝え、「作品の奥に人が見えると、美術は急に優しくなるんです」と語ります。

また、地元作家の多様な表現にも光を当て、「このまちには、こんな芸術家がいるんだ」と市民が胸を張れる筑西市であってほしいと願っています。

熊谷市から移り住んで数年が経ち、「不思議なくらい、心地いいまちです」と微笑む篠木さん。美術をきっかけに、市民の中に小さな好奇心が灯り、その光がまちをそっと照らしていく。そんな未来を夢見ています。

■ 篠木さんのおすそわけは、
美術鑑賞についてアドバイスすることです。

連絡先は、TEL.0296-23-1601

しもだて美術館 筑西市丙372 アルテリオ3階